

## 薬に関わるすべてのことに

薬剤部は「薬に関わるすべてのことに責任をもつ」というポリシーで、医薬品の適正使用・リスクマネジメントを通じて京大病院において安心・安全で効果的な薬物治療が提供できるよう支援しています。そのため、先進的な薬剤業務を展開するとともに、大学病院として高度医療の開発・実践に取り組み、資質の高い医療専門職の養成にも注力しています。

### 安心・安全で効果的な薬物治療への貢献

#### ■業務展開

処方せん鑑査・調剤、院内製剤、医薬品の供給管理、医薬品情報管理といった従来からの薬剤業務を基本としながら、薬物血中濃度モニタリングに基づく投与設計、抗がん剤の投与レジメン管理と無菌調製、治験管理など新たな業務も拡充しています。また、電子カルテシステムや薬剤オーダーチェックシステムなどIT技術を活用し、業務の正確性・効率性を追求しています。

#### ■病棟業務の推進

すべての病棟に担当薬剤師を配置し、患者さんをケアする医療チームの一員として、薬歴管理、服薬説明、薬効・副作用モニタリングなどの薬学的管理を行っています。

#### ■チーム医療への参画

感染対策チーム（ICT）、褥瘡対策チーム、栄養管理チーム（NST）、がんサポートチームなど高い専門性を有する医療チームに参画し、薬剤師の職能を活かした貢献をめざしています。

### 高度医療の開発と実践

#### ■薬物療法の個別化をめざして

免疫抑制剤や抗がん剤などについて、薬物血中濃度モニタリングに加え薬物動態関連遺伝子の発現量測定や遺伝子多型解析を行い、個々の患者さんに最適な投与設計法の確立に取り組んでいます。

#### ■新たな治療薬の開発をめざして

文部科学省橋渡し研究支援プログラムにおいてトランスレーショナル・リサーチをサポートするため、特殊無菌製剤室では先進医療をはじめとした臨床試験薬の製造などを行っています。



### 資質の高い医療専門職の養成

#### ■医師の養成

全国の大学に先駆けて、医学部学生に対する講義・臨床実習を担当し、医薬品の安全管理と適正使用の教育に力を入れ、薬物療法に精通した医師の養成に貢献しています。

#### ■薬剤師の養成

6年制となった薬学部・薬系他大学の学生を対象とした病院実務実習や薬剤師の卒後教育の充実をはかっています。また、日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設、日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設、日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修施設等として認定されており、当院薬剤部職員も多数、学会認定薬剤師やがん等の専門薬剤師として活躍しています。

